

令和3年度事業報告

社会福祉法人 和 松 会

1. 役員会等の開催状況

(1) 監事監査等

令和3年5月26日・法人監事による令和2年度事業全般及び決算の監査
令和3年11月26日・法人監事による令和2年度事業全般の中間監査実施

(2) 令和3年6月1日 理事会：会場 まいど童夢

《議案》

- ・令和2年度事業報告及び決算について
社会福祉充実残額について
法人監事による監査結果報告
- ・評議員の選任について
- ・定時評議員会の開催日程及び議事内容について

〈報告事項〉

- ・理事長及び業務執行理事の職務執行状況報告

(3) 令和3年6月19日 評議員会：新型コロナ感染拡大防止のため書面決議

《議案》

- ・令和2年度事業報告及び決算の承認
社会福祉充実残額について
法人監事による監査結果報告
- ・理事・監事の選任について

〈報告事項〉

- ・評議員選任委員会開催報告

(4) 令和3年6月19日 理事会：会場 まいど童夢

《議案》

- ・理事長の選定
- ・業務執行理事の選定

(5) 令和3年12月4日 理事会：会場 まいど童夢

《議案》

- ・令和3年度法人及び施設会計第一次補正予算について
- ・各施設の給食外部委託について
- ・弔慰金の支払いについて

〈報告事項〉

- ・令和3年度法人及び各施設の運営状況（中間報告）
- ・松寿園 県実地指導実施結果報告
- ・松秀園 消防立入検査結果報告
- ・理事長及び業務執行理事の職務執行状況報告
- ・監事による中間監査報告

(6) 令和4年2月1日 理事会：会場 まいど童夢

《議案》

- ・介護保険法に基づく監査結果及び勧告について

(7) 令和4年3月25日 理事会：会場 まいど童夢

《議案》

- ・令和3年度法人及び施設会計第2次補正予算について
- ・令和4年度事業計画（案）並びに当初予算（案）について
- ・令和4年度嘱託医師との委託契約について
- ・令和4年度各施設の給食外部委託契約について
- ・拠点区分間会計の借入並びに貸付について
- ・苦情解決第三者委員の選任について
- ・規程の改正について

給与規程 臨時職員就業規則 経理規程の改正

- ・役員等賠償補償の契約締結について

〈報告事項〉

- ・理事長及び業務執行理事の職務執行状況報告
- ・松寿園 介護保険法に基づく県監査の報告

2. 事業の状況

令和3年度も、令和2年度に続き、コロナウイルスへの対応に終始せざるを得ない1年間となりました。ワクチンの集団接種や濃厚接触者・陽性者が確認された際の対応等、これまでに経験したことのない事態に直面し、運営にも大きな影響を及ぼしました。幸いクラスターの発生はありませんでしたが、それでも利用者の方・職員ともに大きなストレスを抱えながらの生活・介護・支援を強いられました。その中でも少しずつ事例を積み重ね、早期の検査体制を構築、環境を整え、BCPを作成する等の対策を講じてきました。困難な状況は今後も続くと思われませんが、2年度・3年度と培った経験をもとに、利用者の方・職員が少しでも安心できるような運営を心掛けていきます。

運営面では、資金収支差額を当初予算よりも多く確保することが出来ました。コロナ禍という厳しい状況の中、各事業所が経費削減・稼働率の安定、新規利用者の獲得や利用継続に心掛けた結果だと捉えています。

松寿園・清松園の老朽化の対応を柱とする、法人全体の中長期計画の策定については法人敷地内の測量を行う等行動し、議論を続けてきました。しかし、具体的な方向性を出すまでには至っていません。令和4年度も引き続き検討を行っていきます。

積年の課題である人材確保について、令和3年度に続き、4年度も新卒職員を1名確保することが出来ました。しかし、人手不足は深刻です。5年度も多くの人材を採用することができるよう、一層努力をしていきます。

令和4年1月、介護報酬の過誤について、県の監査を受け返還・再請求することがありました。各制度をもう一度見直し、コンプライアンスを徹底、このような事態が起こらないよう法人全体で取り組んでいきます。

3. 法人の借入金の償還状況

和松会各施設建設の借入金の償還については、事業収入及び償還補助金にて順調に返済しています。

令和3年度の元金償還額は17,444千円となりました。

期首借入金残高	136,456千円
期中借入額	0千円
期中元金返済額	17,444千円
期末借入金残高	119,012千円
(内1年以内返済予定額)	(17,444千円)

4. 地域（福祉）交流・地域貢献活動の実施状況

新型コロナウイルス感染症拡大の影響を受け、規模を縮小・中止した活動も多かったですが、可能な範囲での取り組みを実施してきました。

(1) 地域・在宅福祉活動の推進、地域貢献

短期入所事業・日中一時支援事業・外出支援サービス・移送サービス・配食サービス・生きがい講座・喫茶・菊川市包括支援センターのランチ事業である高齢者総合相談支援、3市から委託を受けての障害者相談支援事業等、各施設が持つ機能を積極的に展開して在宅生活を支援しました。熱海市で土砂災害が発生した際には、DWATとして登録している職員2名を計3回派遣、災害の初期対応を支援しました。

(2) 長寿安楽地蔵尊大祭・夏祭りの開催

長寿安楽地蔵尊大祭に関して、令和3年8月25日（水）に規模を縮小し開催しました。小笠青僧会の皆様のご協力により、地域の安全と和松会関係者の長寿と安楽の祈願を致しました。夏祭りにつきましては、感染拡大防止の観点から中止させていただきました。

(3) 福祉教育活動の推進

近隣幼保園、小学校、中学校や高校の体験学習の場として、また、大学や専門学校等の実習の受け入れを行いました。コロナ禍により、他法人での受け入れが困難になった際にも感染対策を行いながら受け入れを行い、実践の場を提供しました。近隣小中学校・高等学校を対象として、静岡県社会福祉人材センターが行う「福祉のお仕事魅力発見セミナー」へ職員を派遣し、福祉教育活動に取り組みました。

5. 総合防災訓練の実施

施設毎に毎月防災訓練を実施しております。近隣(高橋口・棚草・三協)自治会非常救護班との連絡会議及び夜間合同防災訓練に関して、新型コロナウイルス感染症拡大の影響を鑑み中止させていただきました。

6. 苦情解決第三者委員

苦情解決第三者委員として2名を選任、毎月第3水曜日の苦情解決委員会に出席していただき、各施設の苦情・事故・ひやりはっとの状況を共有、助言をいただいています。3年度は、新型コロナウイルスの感染拡大に伴い、中止させていただいた月もありました。なお、本年度、苦情申し立てに関しては各施設ともありませんでした。